

守山・欲賀の水度天神宮を訪問 11月27日

昨年9月、水度神社をめざしていた守山の寺田さんに偶然お会いして水田宮司を紹介させて頂いたことが縁で始まった守山・欲賀（ほしが）の水度天神宮のみなさんとの交流。水度神社の氏子総代さんたちが3月に訪問され、5月には水田宮司をお招きしての総会記念講演「水度神社の由来と近江水度天神宮との深い繋がり（きっかけから現在まで）」において頂いた寺田さん、と言うように交流が生まれてきました。

今回は水田宮司とそこご友人、会員の中東さんと杉浦が先月の27日（木）守山・欲賀の水度天神宮を訪問しました。2時前に城陽駅を出発、JR守山には2時50分頃に到着、西口（琵琶湖側）の近江鉄道バス停を3時ちょうどに出発、小津農協前へ。バスが到着すると寺田さんが迎えに来てくれました。5分ほど歩いたところに欲賀の水度天神宮がありました。



鳥居の前で記念撮影

浄光寺の隣にある水度天神宮は氏子のみなさんによって気持ちよく整理された空間を作り出しています。寺田さんは「このお宮さんは私たちの手で掃除や草取りなどを行っています。今では寺田姓の人たち10軒ほどになりましたがお守りをしています。」と紹介されました。近くに住む氏子さん、もちろん全員寺田姓の方々に案内していただきました。



水度天神宮本殿前

「由緒」によれば、鎌倉期に山城国久世郡水度庄寺田郷の寺田姓の方々が近江・坂田郡に移住され、その際に水度神社の祭神を分祠されたのが始まりとされています。その後永和三（1377）年に欲賀に再度移住され、明治四十二（1909）年、「当地に御遷座」されたと記されています。浄光寺にも案内して頂き、太鼓堂や鐘楼などを見学、名残を惜しみながら欲賀を後にしました。

杉浦 記

守山・欲賀の水度天神宮訪問 11月27日 / 立命・平和ミュージアム訪問 11月18日
 / 中東自治会・「水害パネルミニ展示会」 10月25・26日 集会所にて / 市辺公民館の曝書
 ～今年もお邪魔しました 2025 ～ / 石棺は橋に使うのが定番か？ ～城陽の石棺仏「歯痛地蔵」の「市指定文化財」によせて～ / 当帰のにつ帰 / 会の活動・短信 / 訂正とお詫び / 第
 34回 城陽茶まつり ～2025～ / 寄贈図書を紹介 / 水主神社の新嘗祭と金比羅さん遷宮 /
 祭りの前の祭り “おはげ” / 海をわたった 土器 / 城陽市域を中心とした空襲と防空壕（附）
 / 今年のニュース・和訶羅河の記事一覧を作成 / 歯痛地蔵・竜山石の現地見学 1月24日（土）